

平成30年度新潟県内3国立大学法人工事入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成30年11月6日（火） 新潟大学事務局4階第一会議室	
委員	委員長 古川 兵衛（弁護士） 委員 小田 茂達（公認会計士） 委員 平山 桂子（新潟県建築士会新潟支部長） 委員 上野 美紗（上野住宅建材(株)常務取締役）	
審議対象期間	平成29年7月1日～平成30年6月30日	
抽出案件（合計）	5件	（備考） 今回の審議対象期間においては、 再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
建設工事（小計）	5件	
一般競争入札 （政府調達に関する協定適用対象工事）	0件	
一般競争入札（上記工事を除く）	4件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務（小計）	0件	
簡易公募型プロポーザル方式（拡大）	0件	
標準型プロポーザル方式	0件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>議事に先立ち、出席者の紹介、新潟大学施設管理部長の挨拶、委員の互選による委員長 長の決定</p> <p>・古川兵衛委員が委員長に決定。</p> <p>建設工事及び設計・コンサルティング業務の審議対象工事案件について</p> <p>「新潟県内3国立大学法人において平成29年7月1日から平成30年6月30日に契約した建設工事及び設計コンサルティング業務の審議対象工事案件について、各法人の入札、契約ごとに説明、報告。」</p> <p>・特になし</p> <p>審議対象工事案件における抽出について</p> <p>「審議対象工事案件における抽出方法及び抽出案件5件について説明」</p> <p>・特になし</p> <p>抽出案件の審議</p> <p>「①新潟大学（旭町）医歯学総合病院西病棟6階感染症室換気設備改修工事」</p>	

別紙

意見・質問	回答
<p>・ 随意契約により相手方が決定しているが、予定価格と契約額の差が生じている原因は何故なのか。また、落札率が低い理由はどのように考えられるか。</p> <p>「②新潟大学（五十嵐他）中央図書館等直流電源設備蓄電池取替工事」</p> <p>・ 応札業者 8 社の入札価格のばらつきについて、どのように考えられるか。</p> <p>・ 応札者 8 社全てが予定価格を下回り、内 3 社は予定価格の半値以下の入札価格である理由は、どのように考えられるか。</p> <p>「③長岡技術科学大学 学生宿舎 1 号棟洗濯室等改修工事」</p> <p>・ 公告日数も取れており、競争参加における範囲を狭めている感じはないが、応札業者が 1 社なのは何故なのか。</p>	<p>・ 3 社から見積を徴収し、その中の最低金額に本学の査定率を掛け、予定価格を作成したが、見積合わせ時の業者の応札金額が低かったため差が出たと考えられる。</p> <p>・ メーカーの仕入れ価格にばらつきがあると考えられる。また、応札業者によっては、本学の契約実績を作ることを考慮したのではないかと考えられる。</p> <p>・ 本学における同様の工事实績の落札率は 83%以上であるが、本学との契約実績を作るため価格を下げて応札したのではないかと考えられる。</p> <p>・ 業者などに確認したところ、長岡周辺において工事が集中しており、配置技術者が少ない状況であると伺っている。</p>

意見・質問	回答
<p>・落札決定まで都合4回の入札（見積合せを含む）を行っているが、最初の入札価格と予定価格の価格差は、どのように考えられるか。</p> <p>「④長岡技術科学大学 環境システム棟（Ⅱ期）空調設備改修工事」</p> <p>・落札率が99.41%と高めであり、当該業者は他の工事においても高落札率となっている。また、応札2社における入札価格の差について、どのように考えるか。</p> <p>・応札者が2社であったことは、どのように考えられるか。</p> <p>・業者募集（競争参加資格）の地域要件を広げる等の工夫は出来なかったか。</p>	<p>・工事規模は小さいが工事現場が5階建てであり、5フロア毎にそれぞれの工種施工が必要であることから、施工効率が良くない案件であったこと及び長岡周辺の人手不足からの影響と考える。</p> <p>・本工事は機械設備の入替え工事であり、既存建物の集中管理装置に対応可能な空調機械の発注であるため、仕入時の空調機械の価格の違いと考える。</p> <p>・長岡市内において空調設備の更新工事が集中しており、それに伴い技術者の配置が困難であったと考えられる。</p> <p>・既に関東甲信越までの広範囲としている。高額な工事（Aクラス含む）であれば、遠方からの応札希望業者も現れると思われる。</p>

別紙

意見・質問	回答
<p>「⑤上越教育大学 山屋敷団地基幹整備（消雪設備等）工事」</p> <p>・落札者の入札価格と予定価格の差及び低入札価格調査における工事施工の可否について説明いただきたい。</p> <p>その他</p> <p>「再苦情処理の申し立て状況等」</p> <p>・特になし</p> <p>講評事項</p> <p>・特に指摘事項なし</p> <p>・各事案を拝見し、応札希望業者が少ないのは時代的背景から、不落随契や1社応札の増加現象が続いているのは健全な競争が働いていないと単純に見解することは出来ないところではある。</p> <p>・今後の契約において高落札率の案件の場合は、その背景に合理的な事情が認められるのか検討を重ね対応して頂きたい。</p>	<p>・本学の積算は積み上げた直接工事費に対し土木の経費（直接工事費に対比する経費率が高い）を加算して積算しているが、業者は約6割を占める消雪配管布設工事部分の経費率を低減し応札したことで差額が出たと考える。なお低入札価格調査におけるヒアリングで、直接工事費には大きな差がないこと及び落札者は本学における消雪保守管理も行っており、工事内容を十分理解していると判断できたなどの理由から工事施工可能と判断した。</p>